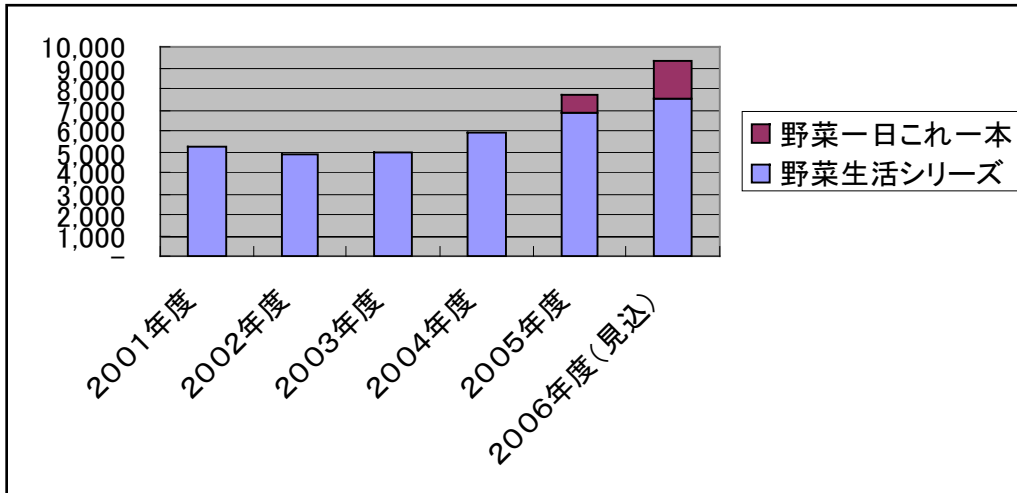


■ 参考資料

◆ カゴメ野菜飲料1000ml紙パック販売量の推移



(単位: 100万円, カゴメ出荷実績)

◆ 紫にんじんとは

約3000年前にアフガニスタンのヒマラヤ・ヒンズークシ山麓で生育していたといわれている、にんじんの原種。また、12世紀からはヨーロッパの一部の地域で栽培され始めた。

1750年頃にオランダ人がオレンジ色のにんじんを開発するまで、紫にんじんは一般的なものだ。スペイン、パキスタン、アフガニスタン、トルコ、エジプトなどでいまでも栽培、消費されている。

紫にんじんは、野菜の中でもアントシアニンを多く含む種類で、カゴメは高品質な原料を安定供給できるよう取り組んでおります。



紫にんじん